

なのはな展 2021 NANOHANA ART 2021

～みんなの夢を膨らませよう～

開催に寄せて

このたび8回目となる「なのはな展」を開催します。

IFMA は、2013 年から「菜の花」の利用者のみなさんと月に一回の創作活動を行ってきました。ここでは「上手に描く」「綺麗に仕上げる」ことを目的とするのではなく、感じたまま自由に表現することの過程で生まれるコミュニケーションを大切にしています。そして、年に一度、その活動をみなさんに見て楽しんでいただく展覧会を開催してきました。

記念すべき一回目の展覧会のタイトルは、「ちいさなシアワセ」でした。利用者の方と同じ場所と時間を共有しながら、「ちいさな」作品を創り上げていくその意味を追いかけてきました。迷いながら繰り返してきた「ものづくり」のなかで、利用者の方々と私たちを包む「笑顔と夢とやさしさ」こそに価値があると感じるようになりました。

私たちには夢があります。利用者さん一人一人に夢があります。今回の展覧会では、一年間の創作活動の成果を展示するとともに、お一人お一人の夢を風船に込めてもらうことにしました。その夢の風船は前庭に大きな木となって実ります。

去年は、新型コロナウイルス感染拡大によって、私たちにとって当たり前だった日常は大きく変化しました。ウイルスがもたらしたさまざまな見えないものに対して、人々は動揺し、寛容性を失い、これからの社会や生活への不安が一気に膨れ上がりました。しかし、これはたかだか十数万年の間に地球に拡がった人類が、数十億年の地球とその環境をあなどっていたことに対する自然からの警鐘ではないでしょうか。私たちは「弱い」ということを痛いほど知ることができました。今、必要なことは、弱いからこそ一緒に力をあわせて助け合いながら生きていく大切さをあらためて学ぶことではないでしょうか。

何も難しいことはありません。一人一人に「笑顔と夢とやさしさ」があればいい。夢を持って、周りの人たちへの感謝とやさしさで接することです。

私たちは、これからも菜の花のみなさんに寄り添って、「笑顔と夢とやさしさ」を感じる創作活動を通して、一人一人の夢をかなえていくお手伝いをしていきます。

今回、初めて「なのはな展」をご覧いただいた方々、今まで何度も足を運んでいただいた方々、「笑顔と夢とやさしさ」があふれた作品をお楽しみください。

令和3年3月吉日

NPO 法人

フィールドミュージアム文化研究所 (IFMA)

代表 南 博史

創作活動担当

もりきれいこ